

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月17日更新

事務事業名		延長休日保育助成事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸		所属部	こども部	課長名	小畑 英之
	施策	5	こども・子育て支援の充実		所属課	こども未来課	担当者名	林 かおり
	業務分野	18	子育てと仕事の両立支援		所属班	保育班	(内線)	1623
予算科目		会計一般	款 3	項 2	目 3	事業連番 10568	法令根拠	合志市延長保育事業補助金交付要綱
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	合志市内の認可保育施設を利用する児童の保護者が、標準時間(11時間)の保育でも不足する場合に、保育時間を延長し保育施設にて預けることができる。それに伴い発生する保護者および施設の負担を軽減する。			
【業務の流れ】	補助金交付申請(事業計画・事業収支予算) ②交付決定 ③実績報告(事業報告・収支精算) ⑤補助金交付確定 ⑥補助金交付			
【主な予算費目】	補助金			

(1)事務事業の振り返り・計画
 ①6年度事務事業の成果・実績
 延長保育を利用する保護者及び、それに伴う施設の負担に対し補助金を交付することで、保護者の費用負担軽減及び施設の負担軽減を行った。令和6年度実績：実施園27園、実利用人数1,018人、延べ利用人数21,166人
 【基準に達しなかった理由】
 年度途中で国において補助基準額を大幅に上昇させる見直しがあり補正予算を計上したが、事業を実施する施設の実績について補助上限額に達する施設が少なく、想定よりも補助額が少なくなったため。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容) ③予算の主な増減の理由
 全ての認可保育施設で実施。そのうち1施設は2時間延長保育を実施する。 R7より保育所等運営事業(10580)へ統合することに伴う事業費の減
 R7より保育所等運営事業(10580)へ統合。

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 補助金交付施設数	園	延長・休日保育助成実績より
イ 延長・休日保育延べ利用者数	人/年	延長・休日保育助成実績より

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア 園		27	27	27	27	0	0	0	0
	イ 人/年		25,647	22,821	25,000	21,166	0	0	0	0
事業費	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円	4,464	3,575	4,067	5,054	4,500			
	都道府県支出金	千円	3,425	3,332	4,067	5,054	4,500			
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
一般財源	千円	2,386	3,090	4,067	5,054	4,500				
(A) 事業費計	千円	10,275	9,997	12,201	15,162	13,500	0	0	0	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)
 (成果向上の余地)
 保護者ニーズがある全ての園で実施しているため、成果向上の余地はない。
 (事業費削減の余地)
 国庫の交付金の基準額内で補助しているため、削減の余地はない。

(4)今後の事業の方向性
 廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)